

リベラルアーツセンター
報告書 2022

2023（令和5）年3月

米子工業高等専門学校
リベラルアーツセンター

刊行に当たって

米子高専リベラルアーツセンターの2022（令和4）年度の報告書を作成しました。

9月に開催した「KOSEN フォーラム」のオーガナイズドセッションでは、小職が図書館長とリベラルアーツセンター長を兼務していることもあり、リベラルアーツの視点も加えて高専の「図書館」について考えてみることにしました。そして、高専図書館について知見をお持ちの筑波大学図書館情報メディア系講師の大庭一郎先生と出会うことができ、基調講演をお願いしたところ、ご快諾いただきました。

オーガナイズドセッションは、コロナ下で今年度もオンラインでの開催となりましたが、全国の高専から参加があり、基調講演を受けて活発に意見交換できました。大庭先生の基調講演の資料を、本報告書に収録させていただきました。

あわせて、本校の図書館の現状もご覧いただければと思います、図書館報『としょぶらり』（2021～2022年度分）を抜粋して収録しております。

12月には、学生対象の「リベラルアーツ講演会」を2年ぶりに実施しました。昨年度はコロナ感染拡大を受けて遠隔授業に切り替わり、実施のタイミングを逸しておりました。

講師は、昨年度のKOSEN フォーラム・オーガナイズドセッションで基調講演していただいた東京理科大学教養教育研究院長の慎蒼健先生にお願いしました。慎先生は、科学史・医学史を研究されており、まさにコロナの現在において学生に興味深いお話をしてくれるものと期待してお願いしたところですが、聴講した学生の感想として、「多方面に物事をつなげて見ることで理解しやすかったし面白かった」、「視点を変えて見ることの重要性を学べた」といった学生の“常識”を揺さぶるもので、有意義な時間を共有することができました。本報告書に、慎先生の講演資料を収録させていただきました。

当センターでは、上記のほか、鳥取県立博物館と連携した「対話型鑑賞」（対話型アート鑑賞；STEAM教育の一環）を授業に取り入れたり、図書館と共催で「ビブリオバトル」を開催したりして、学生のリベラルアーツの涵養に努めているところです。

これらの取り組みを『リベラルアーツセンターだより』第7号にまとめ、本報告書に収録（63～66ページ）するとともに、センター・ホームページに掲載しております。

また、これまでの取り組みはホームページやセンターだより（バックナンバー）に掲載しておりますので、ご覧いただきましたら幸いです。

2016（平成28）年4月に発足した当センターは、今年度で7年目となりました。高専で言えば専攻科を修了します。本報告書を、高専機構本部や全国の高専、関係者の皆様に配布させていただくとともに、当センターへの引き続きのご理解とご支援・ご協力を賜れましたらありがたく存じます。

2023（令和5）年3月

米子工業高等専門学校 リベラルアーツセンター長 加藤 博和

《目次》

刊行に当たって

米子高専 リベラルアーツセンター長 加藤 博和・・・1

I

令和4年度「KOSEN フォーラム」オーガナイズドセッション・・・・・・・・・・3

「高専図書館のあり方を考えるーリベラルアーツの視点から」

概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

基調講演

「高等専門学校図書館の基本機能

：学生の研究力を支えるリベラルアーツの育成」

筑波大学 図書館情報メディア系 講師 大庭 一郎・・・7

〈参考資料〉米子高専図書館報『としょぶらり』（抜粋）・・・・・・・・・・19

II

リベラルアーツ講演会・・・・・・・・・・・・・・・・・・41

「科学史の現代的意義とは何だろうか」

東京理科大学 教養教育研究院 教授 慎 蒼健・・・43

学生のアンケート結果と感想・・・・・・・・・・・・・・・・・・59

III

『リベラルアーツセンターだより』・・・・・・・・・・61

第7号（2023年3月）・・・・・・・・・・・・・・・・・・63

I

令和4年度「KOSEN フォーラム」
オーガナイズドセッション

高専図書館のあり方を考えるーリベラルアーツの視点から

【趣旨】

高専は、教育研究上必要な資料を、図書館を中心に系統的に備え、専任の職員や設備を備えるものと設置基準に規定されている。

インターネットが普及し、デジタル化が進む中で、図書館の位置づけ・役割や機能も見直しが求められているのではないか。学生の図書館離れは進んでいないだろうか。

本校ではリベラルアーツ教育を推進しているが、図書館を活用して学生たちが読書などを通じて、世界観や倫理観を獲得し、価値観を創造し、自ら学ぶ態度を養ってくれるようにするにはどうしたらよいか。

高専図書館とリベラルアーツなどについて考えていきたい。

【構成】

趣旨説明

米子高専 図書館長・リベラルアーツセンター長 加藤 博和

基調講演

「高等専門学校図書館の基本機能

：学生の研究力を支えるリベラルアーツの育成」

筑波大学 図書館情報メディア系 講師 大庭 一郎

質疑・意見交換

2022年9月5日(月)
令和4(2022)年度KOSENフォーラム
「OS-42 高専図書館のあり方を考えるーリベラルアーツの視点から」

**高等専門学校図書館の基本機能：
学生の研究力を支えるリベラルアーツ
の育成**

筑波大学 図書館情報メディア系
大庭 一郎

1

※基調講演の資料は、ホームページ上では
非公開にしております。

※基調講演の資料は、ホームページ上では
非公開にしております。

※基調講演の資料は、ホームページ上では
非公開にしております。

※基調講演の資料は、ホームページ上では
非公開にしております。

※基調講演の資料は、ホームページ上では
非公開にしております。

※基調講演の資料は、ホームページ上では
非公開にしております。

※基調講演の資料は、ホームページ上では
非公開にしております。

※基調講演の資料は、ホームページ上では
非公開にしております。

※基調講演の資料は、ホームページ上では
非公開にしております。

※基調講演の資料は、ホームページ上では
非公開にしております。

※基調講演の資料は、ホームページ上では
非公開にしております。

※基調講演の資料は、ホームページ上では
非公開にしております。

〈参考資料〉

米子高専図書館報『としょぶらり』

(抜粋)

図書館長あいさつ

教養教育部門 加藤 博和

今年度最初の『としょぶらり』をご覧いただき有り難うございました。いかがでしたでしょうか。ご感想、ご意見などお寄せいただけましたら幸いです。

1つ前の第110号(令和3年3月)から、『彦名通信』と合併し、学生へ直接配布していたものを、保護者の皆様へお届けするよう変更されていますが、今号ではこれまでのとしょぶらりのスタイルからイメージチェンジしてみようと試みました。写真を増やしたり、学生の皆さんにたくさん登場してもらったりして、広報を通じて図書館を親しみやすく身近に感じてもらえるようになればという思いからです。

図書館には、館長、館長補、学術情報係長、係員のほか、カウンター(貸出・返却)や書架の整理・点検などの業務を担っていただいている社会人の方と専攻科生が配置され、サービスを提供しています。学生、教職員の皆さんにスタッフのことを知っていただけたらと思います、自己紹介を掲載することにしました。また、本科1年生から5年生までの各クラス1名ずつ図書委員が選出され、図書委員会が組織されています。今号では定例の図書委員長あいさつに加えて、図書委員全員に自己紹介の寄稿を依頼してみました。個性豊かな文章が集まりうれしく思います。今後の図書委員会の活動に大いに期待できます。短時間で書いてくれて有り難うございました。

昨年度掲載されていた「購入図書(抜粋)」と「図書館利用統計」は、図書館のホームページへ移行することとしその掲載内容も検討したいと思います。むしろ新着図書の情報などは学生連絡用 Teams を活用しタイムリーに配信した方が効果的かと考えます。

「新任教員おすすめ本」は割愛しました。彦名通信と合体したことで、としょぶらりは従来の年2回から増刊が可能となったともいえます。図書館の利用促進という目的に向けてとしょぶらりを充実・活用したいと図書館長として思っています。

図書館のホームページのコンテンツ(フレーム)も私が採用された15年前の頃とあまり変わっていないように感じますので、こちらの見直しとリニューアルにも着手したいと思います。

改めまして、今年度、図書館長を拝命しました加藤と申します。総合工学科教養教育部門(社会)の教員です。リベラルアーツセンター長と教務主事補等も兼務しております。

年度当初の運営方針として、①学生等のニーズに沿った図書館サービスの改善・充実、②デジタル化やSDGs等に対応した図書館のあり方の検討を掲げました。業務の見直しを図り、新機軸や相乗効果(シナジー)も出していく必要があります。デジタルの時代だからこそ、アナログ的な部分やヒューマニティの面も大切にしたいと思います。よろしくお願いたします。

トピックス

- 4月6日(火) 編入生・留学生への図書館ガイダンスの実施
- 4月13日(火) 修学ガイダンス(1年生)で図書館の利用案内(Teams 併用)
- 4月13日(火) } 1年生各クラスが図書館を訪問、館内見学対応
- 20日(火) }
- 27日(火) }
- 5月14日(金) 図書部会(第1回)
- 5月18日(火) 学生図書委員会(第1回)
- 6月11日(金) 図書部会(第2回)



OPAC(蔵書検索)を実際に体験



ISSN 1344 - 5634

米子高専図書館報
第112号令和3年12月 発行
米子工業高等専門学校図書館

「ビブリオバトル」を開催しました

図書館・リベラルアーツセンターでは、「ビブリオバトル」を、11月15日(月)16時10分から合同講義室で開催しました。皆さんは、「ビブリオバトル」を知っていますか？ 公式サイトやYouTubeに動画もあります。この機会に見てみてください。

ビブリオバトルとは？（「知的書評合戦ビブリオバトル公式サイト」より）

公式ルール

- ①発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
- ②順番に一人5分間で本を紹介する。
- ③それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行う。
- ④全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員一票で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

たったこれだけのルールで、遊べば読書がスポーツに変わって、本を読むのが楽しくなる！
いろいろな本に巡り会えて、どんどん世界が広がる！

そんなコミュニケーションゲームです。

また、紹介の際にはシンプルに本とカウントダウンタイマーだけ。

あとは、ライブでアドリブで本について語ります。

プレゼンの時間を(公式ルールより短い)「3分間」で行うことにして、出場者(バトラー)を全学生から募集したところ、6名の学生がエントリーしてくれました。クラス・名前・紹介図書を発表順に掲載します。どんなバトルになったでしょうか。

5C	大島みなみ	『たんぽぽ娘』
3D	加藤晃樹	『時計館の殺人』
3D	加藤崇	『源氏物語』
1-5	藤原ダイヤ	『ぼくは君たちを憎まないことにした』
3M	田中希颯	『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』
2D	三井朱寧	『Vivy prototype』



図書委員長の開会あいさつ



出場者のプレゼンの様子

当日は、27名の参加者(出場者・観戦者(学生20名、教職員7名))が集まりました。

図書委員長の3C津村さんが司会を務め、図書委員の4M岩崎さんと4C小川くんがタイムキーパーをしてくださいました。他の図書委員も参加してくれました。

出場者が順に一人3分間で本の紹介をした後、ディスカッションの時間も取りました。「どんな時に読みましたか?」「この本と出会ってあなたにどんな変化がありましたか?」など参加者からの質問に答えてもらいビブリオバトルを深めることができました。



出場者のプレゼンの様子



出場者のプレゼンの様子

そして、「一番読みたくなった本」を基準に参加者が投票を行いました。

投票の結果、「チャンプ本」(最優秀賞)には1-5の藤原ダイヤさんの『ぼくは君たちを憎まないことにした』が選ばれました。そして、次点で優秀賞は3Dの加藤晃樹くんの『時計館の殺人』になりました。

★参加者の感想

「どんなトリックなのか気になった。ミステリーが好きなので選んだ。6冊とも今度読もうと思う」、「『推し』という言葉にひかれた」、「普段、フィクションを多く読むが、ノンフィクションの本も読んでみたいと思った」、「初めて聞きに来たが、面白そうだなと思う本が多く、今度読んでみようと思った」など。



投票の様子



出場者の集合写真

★出場者の感想

<p>「いろんな本と出会えてよかった」「普段読まないジャンルについて知れてよかった」と定番の感想をとりあえず書いておきます。色々な人の「好き」が集まった空間はなんとも言えない楽しさがありました。でも意外と感じるのが「自分が発表した本と向き合えてよかった」ということ。発表内容を考えている間に選んだ本のことがもっと好きになれ、参加してよかったと思えました。</p> <p>追伸。みんながチャンプ本を読み終わった頃に感想交流会みたいなのが開いてみたいです。(3D 加藤崇)</p>	<p>ビブリオバトルへの参加は今回で2回目でした。知らなかった本を知れるだけでなく、難しそうだと避けていたジャンルや本のオススメポイント、読みやすい読み方など知ることができ、ビブリオバトルが終わる頃には今回紹介されていた本達が読みたくてしかたありませんでした。</p> <p>今回は参加者全員がその本と出会ったきっかけ等を知ることができ、とても楽しかったです。(5C 大島)</p>
<p>今年は去年よりも作品の幅が広く、作者も偏っていなかったのが新しい本を見つかることができ良かったです。前々から読みたかった本をさらに読みたいたいと思えたり、既に読んだことがある本をもう一度読みたくなったりできたのも良かったです。</p> <p>私が紹介した本は一人でも多くの人に知ってほしいと思っている作品なので、今回ビブリオバトルで紹介できてとてもうれしく思いました。(2D 三井)</p>	<p>今回先生にお話をいただいて、初めてビブリオバトルに参加しました。本番はとても緊張しましたが、自分が「他の人にも読んでもらいたい!」と思った1冊を最後まで紹介することができ、さらにチャンプ本にも選んでいただけたのでうれしかったです。また、他のパトラーの方が紹介してくださった本はどれも魅力満載で、私もぜひ読んでみたいと思いました。</p> <p>ビブリオバトルを通して、今まで自分が読んだことのない、幅広いジャンルの本と出会うことができたのでとても良かったです。(1-5 藤原)</p>

出場者の中から加藤崇さんに、12月12日(日)に倉吉市で開催予定の全国高等学校ビブリオバトル鳥取県大会へ出場してもらうことになりました。

ビブリオバトルは、来年度も開催したいと思います。今回出場してくれた学生、観戦してくれた学生や、ビブリオバトルに興味を持った学生、皆さんの参加を楽しみにしています。

図書委員長（後期）あいさつ

3C 津村 紘華

後期、図書委員長になりました3C 津村紘華です。図書委員長として米子高専の図書館の魅力をたくさんの人に伝えられるようにがんばりたいです。

米子高専の図書館はきれいでいろんな種類の本が揃っています。実験のレポートなどの参考文献探だけでなく、気になっていたあの本も今年話題のこの本も米子高専図書館にはあります。

本を読むだけではありません。図書館には充実した自習スペースもあります。スマホを充電することも可能です。テスト期間には高専一集中して勉強できる場所と言っても過言ではないです。

本が好きな人も、そんなに読まないし本に興味がないという人も、図書館を活用してもらえよう努力していきたいと思います。半年間よろしくお祈りします。

「読書感想文コンクール」の入賞作品を紹介します

図書館では、本科1年生を対象に、国語科の協力を得て、「読書感想文コンクール」を開催しました。学生が自由に選んだ図書について、原稿用紙(400字詰)3枚以上5枚以内で感想文を書き、夏季休業後に提出してもらいましたところ、150作の応募がありました。

1次審査で、各クラスから3～5編が選ばれ、20作が2次審査にノミネートされました。2次審査では、その中から審査員が点数をつけ、下記のように入賞者を選出しました。最優秀賞・優秀賞の作品は、「高い問題意識から著作をとらえ、自分の意見を適切に述べている」、「著者の隠喩的表現を自分なりに解釈していて興味深い」、「(感想文の)文章が巧みである」などの評価点が挙げられました。

11月16日開催の図書館運営委員会で最終審査・決定し、22日に校長室で表彰式を行いました。

最優秀賞				
クラス	名 前	題 名	読んだ本	著 者
1-5	藤原ダイヤ	『ぼくは君たちを憎まないことにした』を読んで	ぼくは君たちを憎まないことにした	アントワヌ・レリス 訳：土居佳代子
優秀賞				
1-4	佐々木陽菜	安部公房『砂の女』を読んで	砂の女	安部 公房
佳 作				
1-2	遠藤 司	「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」を読んで	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	プレイディみかこ
1-3	坪井 春花	太宰治『葉桜と魔笛』を読んで	葉桜と魔笛	太宰 治
1-4	波田 祈莉	二十一を二十二にするために	八月の終わりは、きっと世界の終わりに似ている。	天沢 夏月
1-5	齋藤 匠	松村涼哉「15歳のテロリスト」	15歳のテロリスト	松村 涼哉
1-5	三島 幸咲	「僕はそうは思わない」	逆ソクラテス	伊坂幸太郎



校長室での表彰式(読書感想文コンクールおよびビブリオバトル)

最優秀賞と優秀賞の作品(感想文)を掲載します。

図書館からのお知らせ

- ★図書館では、今年度から、水筒やペットボトルなどきちんとフタを閉められる容器に入った飲み物については、水分補給や熱中症対策の一環として、館内で飲むことを認めています(その他の飲食は従来通り禁止しています)。

飲む際には、図書や施設等を汚損することのないよう注意してください。

皆さんが快適に図書館で読書や勉強に励んだり、リラックスした時間を過ごしたりしていただけたらと思います。

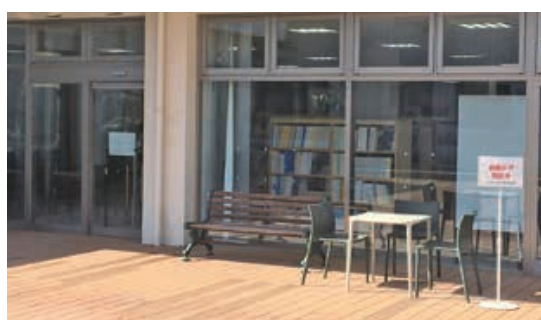
- ★図書館のウッドデッキ(テラス)側の自動ドアを開放しています。
白砂会館・学生寮側から図書館内へ、また図書館内から白砂会館・学生寮側へ、図書館正面に回ることなく、出入りできます。ただし、強風など悪天候の時は閉鎖します。

上記は、学生の皆さんの要望や意見を基に図書館として検討・実施したものです。皆さんが使いやすい図書館となるよう努めていきたいと思っております(図書館長・スタッフ一同)。

閲覧室 & 交流プラザ限定で持ち込めるもの



※空のペットボトルなどを、トイレおよびメディアラボのごみ箱に捨ててください。
ごみの分別にご協力をお願いします。



図書館の業務・活動等

- 7月6日(火) 鳥取県立図書館から来館・打ち合わせ
- 7月7日(水)、12日(月) 臨時休館(大雨警報による登校禁止のため)
- 7月9日(金) 図書部会(第3回)
- 7月20日(火) 図書館運営委員会(第1回)
- 8月21日(土)～10月10日(日)の土曜日・日曜日
臨時休館(新型コロナワクチンの職域接種会場となったため)
- 8月27日(金) 図書部会(第4回)
- 9月2日(木) 鳥取県立博物館から来館・打ち合わせ
- 9月12日(日) 文化セミナー【中止】(新型コロナウイルスの感染拡大防止のため)
- 9月21日(火)～10月1日(金) 休館(本校のコロナ強化期間の延長に伴うもの)
- 9月30日(木)～10月15日(金) (書面審議) 令和3年度中国・四国地区高等専門学校図書館長会議
- 10月19日(火) 図書部会(第5回)
- 10月22日(金) 第62回中国四国地区大学図書館研究集会(共催、オンライン)
- 10月25日(月) 図書委員会(第2回)
- 11月5日(金) 読書感想文コンクール2次審査(一般ゼミナール室)
- 11月8日(月) 図書委員会(第3回)
- 11月15日(月) ビブリオバトル(合同講義室)
- 11月16日(火) 図書館運営委員会(第2回)
- 11月22日(月) 読書感想文コンクールおよびビブリオバトルの表彰式(校長室)

※記事において、学科等の名称をアルファベットで表記している箇所があります。

M…機械工学科、E…電気情報工学科、D…電子制御工学科、C…物質工学科、A…建築学科、G…教養教育科、S…専攻科
例えば、「5M」は機械工学科5年生を表しています。

発行：米子高専広報室

〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4448 TEL: 0859-24-5000 FAX: 0859-24-5009

ホームページ：<https://www.yonago-k.ac.jp/> 印刷：東京印刷株式会社



ISSN 1344 - 5634

米子高専図書館報
第113号令和4年3月 発行
米子工業高等専門学校図書館

「ブックハンティング」を開催

2022年1月17日(月)放課後、今井書店錦町店に学生が出掛けて行って、「ブックハンティング」を実施しました。ブックハンティングは、米子高専図書館の利用者に「これはぜひ読んでほしい」と思う本を、学生の目線で選ぶこと。また、そうした本を配架することで、利用者の増加など活性化を促すために行ったものです。

当日は寒い日でしたが、参加した学生5名と教職員がそれぞれ、店内の書棚をいろいろ見て回りながら、思い思いの本を手にとったり、意中の本を探したりして、本と触れる温かな時間を過ごせました。

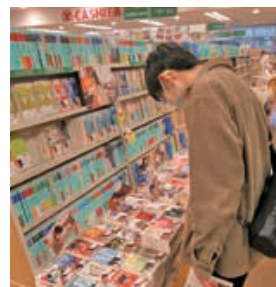
4M 岩崎 弘希

自分はよく小説を読むため、ブックハンティングでも小説を中心に本を探しました。最初の一冊は、あらかじめ決めていた本を選んだため時間はかかりませんでしたが、次からが大変でした。

自分が基本的に買う本はシリーズ物が多く、単行本を選ぶ経験が少なく、迷ってしまいました。かといって、シリーズ物は当たり外れが大きく、選ぶのをためらってしまいました。結局自分が選んだのは無難な推理小説となりました。もし次の機会があればもっと攻めた本を選びたいと思います。

3C 津村 紘華

今回ブックハンティングに参加させてもらって自分が選んだ本が学校の図書館で見られるとは思っていなかったのととてもうれしいです。実際に本屋さんに行って学校に置いてほしい本を選ぶのは楽しかったし、とても悩んでしまいました。その中でもおもしろい本がたくさん集まりました。図書委員だけでなくたくさんの人が参加し厳選した本をぜひ図書館に借りにきて読んでみてください。



2D 三井 朱寧

ブックハンティングに参加して、前から読みたかった本を選ぶことができ良かったです。店頭で実際に選ぶことで、新たな本に出会えたり、話題の本を知ることができたりしてとても楽しかったです。自分の選んだ本が図書館に並ぶことがとてもうれしく思います。また、他の方が選んだ本を読むことによって、普段読まないジャンルや作家さんを知ることができるのも楽しみです。



ブックハンティングをしている学生

卒業研究など多忙で参加できなかった図書委員からも後日、ブックハンティングでおすすめの本のタイトルと推薦文を提出してもらいました。合わせて50冊の本を購入することにしました。

その一部を列举すると、『眠れなくなるほど面白い 図解 聖書』、『100万回死んだねこ 覚え違いタイトル集』、『本当の自由を手に入れる お金の大学』などです。「SDGs」(持続可能な開発目標)に関する本もあります。

各自が選んだ本について紹介するポップや短文と一緒に、新年度、ブックハンティングのコーナーに並んでいると思いますので、皆さん見に来て、借りて読んでみてください。

新コーナーの紹介 小説からヤングアダルトまで

学術情報係 小田 千晶

今年度より、「米子高専図書館ベストセクション」と「高専図書館の片隅で」という2つの新コーナーを設けました。コンセプトは【知らないなんてもったいない!】です。

図書館には、多種多様な本があるので、どうしても「良い本なのに手に取ってもらえない」という本は出てきてしまいます。そこで、少しでも多くの学生にそんな本と出会ってもらおうと思い、各系統の本棚から選書を行いました。

その結果、今までばらばらに配架されていた新書や、写真集をそれぞれまとめたことで、より多くの人の目に触れる機会が増えました。また、近くに似たジャンルの本を配置したので、一緒に借りていく学生の姿も見受けられるようになりました。

図書館にはまだまだたくさんのお本が眠っています。ぜひ色々な本を手に取ってみてくださいね!



新コーナー

「米子高専図書館ベストセクション」

文庫および小説・海外の翻訳小説・新書などを集めています。

例えばこんな本があります。

『六番目の小夜子』 著：恩田陸

とある県立高校で続く謎のゲーム、「サヨコ」。始まりの合図は、赤い花。そして同じ名前の転校生がやってくる。偶然か必然か。六番目の今年、何かが変わる予感がする……。

「高専図書館の片隅で」

ノンフィクション・建築および美術写真集・自己啓発書などを集めています。

例えばこんな本があります。

『のこされた動物たち 福島第一原発 20 キロ圏内の記録』 著：太田康介

3.11 発生後、人間は原発から離れた地域へ避難するよう告げられました。けれど、家族の一員であった動物たちは、一緒に行くことができませんでした。あの未曾有の大災害から11年。もう一度、考えてみませんか？

『としょぶらり』のバックナンバー

今年度、図書館の広報誌『としょぶらり』（『彦名通信』に収録）を第111号（6月）、第112号（12月）、第113号（3月、本号）と3回発行しました。これまでの『としょぶらり』から少し内容を変えてみたところもありますが、いかがでしたでしょうか。

コロナ禍の中、図書館の利用者数や図書の貸出冊数は減少しています。デジタル化など社会情勢が変化中、図書館の役割やあり方も見直しや再考が必要と思っております。

これまで発行されてきた『としょぶらり』は、平成16年6月の第77号以降を、図書館のホームページに掲載していますので、ご覧いただければと思います。



日本海新聞「新聞感想文コンクール」で入賞

「第7回 日本海新聞・児童生徒新聞感想文コンクール」（主催：新日本海新聞社、日本海新聞を発展させる会、後援：鳥取県教育委員会）で、3C 細田めい子さんが「高校生の部」の優良賞を受賞しました。

2021年6月24日の日本海新聞の「『世界標準』ほど遠く」—最高裁の判断が変わらなかった—という記事を読んで、日本の夫婦同姓制度について考えた内容で、「夫婦別姓が認められるためには、裁判の中に新しい風を入れることが必要」、夫婦同姓の問題だけでなく「世界標準で考えて変化させていくことがこれからの社会では大切」と述べています。

3C 細田 めい子

今回の新聞感想文コンクールでこんな賞をもらえるとは思ってなくて、とても驚きました。私が書いたのは最初に見た新聞に載っていた、夫婦別姓に関するものです。ニュースでチラッと聞いたことがある話題だったので見てみると、裁判では夫婦別姓を認めないのは違憲ではないという判決が出されたというもので、疑問に思ったので気になってこれについて書こうと決めました。

詳しく読んでみると、そもそも裁判官に女性が少なかったり高齢だったりして、それでは公正というか現代の価値観に合った判断が出来ないのではないかと感じて、それについてまとめました。家では新聞を取っていないしあまり見る機会がなかったのですが、新しい発見や思うところがあって、新聞を見るのも大事ななあと思えたいい機会でした。

コンクールは、次代を担う児童生徒が新聞に親しむとともに、記事の感想文を書くことで読解力や表現力、社会への関心を高めてもらうことがねらい。高校生の部には718点の応募がありました。優秀学校賞に米子高専が選ばれています。



新聞を学校や家庭での学習に活用することで、社会への関心を高め、自分ごととして考えを深めることにつながります。学校などで新聞を教材として活用する活動を「NIE」(Newspaper in Education)と呼んでいます。1930年代にアメリカで始まったものです。

図書館には、地元の日本海新聞、山陰中央新報、全国紙の読売、朝日、毎日、日本経済(日経)の各新聞があります。読んで/読み比べてみませんか? おもしろい記事や役立つ記事があると思います。

図書館の業務・活動等

- 12月12日(日) 全国高等学校ビブリオバトル2021鳥取県大会(倉吉体育文化会館)
- 12月20日(月) 図書委員会(第4回)
- 1月12日(水) 図書部会(第6回)
- 1月17日(月) ブックハンティング
- 1月18日(火)~2月12日(土) 臨時休館(臨時休校・遠隔授業等に伴うもの)
- 2月21日(月) 図書部会(第7回)
- 2月25日(金) 図書館運営委員会(第3回)

図書館からのお知らせ

図書館からのお知らせ

令和4年度からの開館カレンダーの変更について

図書館は今年度は、土曜日は原則閉館(休館)とし、定期試験前1週間の土日祝と定期試験中の土日祝は開館します。

定期試験時の開館日(開館時間は10時～15時です)

前期中間試験：6月4日(土)・5日(日)・11日(土)・12日(日)

前期期末試験：7月30日(土)・31日(日)・8月6日(土)・7日(日)

後期中間試験：11月23日(水・祝)・26日(土)・27日(日)・12月3日(土)・4日(日)

学年末試験：2023年1月28日(土)・29日(日)・2月4日(土)・5日(日)

その他の開館日時(例えば長期休業期間中)についても、図書館ホームページに掲載している「図書館カレンダー」で確認して利用してください。

米子高専図書館についての学生アンケートの結果

学生の皆さんに、3月3日～11日の期間でMicrosoft Formsを使って、図書館についてのアンケートに回答してもらいました。220名の回答がありました。ご協力ありがとうございました。

その集計結果を図書館ホームページ(2021年度の新着情報)に掲載しています。この結果も参考に、図書館サービスの改善・充実等を図っていききたいと思います。

飲料自販機の設置等

図書館に併設されているウッドデッキテラスに、飲み物の自動販売機を設置しました。

図書館内で、水筒やペットボトルなどきちんとフタを閉められる容器に入った飲み物については、水分補給や熱中症対策の一環として、飲めます。

テラス側の自動ドアも開放していますので、白砂会館・学生寮⇄図書館情報センター間の出入りに利用してください。



【テラス】自販機の設置(自動ドアの開放)

美化に努め、図書館・ウッドデッキテラスで快適に過ごしてもらえたらと思います。

パーテーションの設置

図書館の自習机に、パーテーションを設置しました。

これは、コロナ対策の一環であるとともに、プライバシーを保護したり、周囲を気にせず勉学に励んだりできる目的などもあります。

閲覧室・交流プラザともに設置しています。パーテーションは動かすこともできます。

図書館で安心して快適に過ごしてもらえたらと思います。



【交流プラザ】



【閲覧室】

自習スペース(パーテーションの設置)

写真同好会による写真の展示

図書館と写真同好会がコラボして、館内に(書棚などに)写真を飾りました。

館内が彩られて、アートな図書館になっています。本を探しながら写真を眺めたり、写真を眺めながら本を探したりしてみてください。

今後、小さい写真も10点近く置く予定ということです。楽しみにしたいと思います。



こんにちは、写真同好会です。

4月から僕たちの写真を図書館に常設展示することになりました。いたるところに写真が散りばめられていますので、是非見にきてください!

季節ごとなどで入れ替えや配置替えなども行う予定ですので、今後も楽しみにしてください!



部門推薦図書、AI・数理データサイエンス分野の参考図書の紹介

各部門から推薦された図書(雑誌)を図書館に配架しています。M:15冊、E:16冊、J:17冊、C:6冊、A:15冊、G:37冊の合計106冊です。

昨年度、選書のガイドラインを作成し、①1・2年生にも分かりやすい入門的な図書、②3年生以上を対象とした探究的な図書、③当該部門(コース)に関連する、広く学生の興味・関心を喚起する図書、④高校生・大学生の時に読んでほしい図書、⑤教養を高められるような図書(リベラルアーツに関する図書)、⑥その他当該部門(コース)において学生に必要と考える図書を推薦してもらいました。



【交流プラザ】
部門推薦図書コーナー

また、昨年度のCOMPASS5.0予算で購入された、AI・数理データサイエンス分野の学生用参考図書(15タイトル)が図書館に寄贈されました。『絵と図でわかるデータサイエンス』(上藤一郎、技術評論社)、『教養としてのデータサイエンス』(内田誠一他、講談社)などです。

1年生の専門コース選択や、AI・数理データサイエンスの理解のためにも、図書館を活用してください。

後援会の図書館援助費による図書の購入

昨年度、米子高専後援会からの支援を受けて、図書館に79冊の図書を購入・配架しました。

昨年度開催した読書感想文コンクールの入選作品で取り上げられた図書、同じくビブリオバトルで紹介された図書、学生からリクエストのあった図書、その他ヤングアダルト、ノンフィクション、新書やリベラルアーツ関係の図書を選書しました。



ISSN 1344 - 5634

米子高専図書館報
第115号令和4(2022)年12月 発行
米子工業高等専門学校図書館

「ビブリオバトル」を開催しました

図書館・リベラルアーツセンターでは、「ビブリオバトル 2022」を11月3日(木・祝)に、高専祭の中のイベントとして11時からロータリーステージで開催しました。

ビブリオバトルについての説明は、「知的書評合戦ビブリオバトル公式サイト」やYouTubeの動画などを参照してください。(昨年度の様子は、『としょぶらり』第112号に掲載しています。)

今回の出場者(バトルー)は下記の7名でした。

学年・クラス・名前(発表順)	紹介図書(著者)
3E 松本 颯人	赤ずきん、旅の途中で死体と出会う。(青柳碧人)
3E 野田 柚月	TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ(TEX 加藤)
3E 王 梓安	神鵬剣俠(しんちょうけんきょう) (金庸(きんよう))
3D 三井 朱寧	君のクイズ(小川哲)
1-3 福住 陽路	日本以外全部沈没(筒井康隆)
1-3 阿部 奏	探偵が早すぎる(井上真偽)
3D 三宅 智仁	精霊の守り人(上橋菜穂子)

プレゼンの時間は1人・3分間で(公式ルールは5分間)、出場者が本を持参して、ロータリーの石の上で発表しました。

図書委員長の4A 川部知歩さんが司会を務め、ルール説明や出場者の紹介をし、図書館スタッフがタイムキーパーなどの補助をしました。

図書委員会(10月)で今年度のビブリオバトルをいつ行うかを話し合った際、高専祭で実施すれば多くの人に見てもらえてよいのではないかという意見が出され、みんなの賛同を得て高専祭で初めて行うことになりました。



ビブリオバトルの様子

ビブリオバトル

幸い天候に恵まれ、屋外で注目を浴びたものの、高専祭の他のイベントや出展（出店）に関わったりそれらへ移動したりする学生たちが多く、ビブリオバトルを最初から最後まで観戦してくれる方は残念ながら少ない状況でした。出場者も、一室の静かな環境で本の紹介をしたかったようです。



ビブリオバトルの様子

ともあれ、出場してくれた学生、立ち止まって観戦していただいた来場者の皆さん、関係者の方々、ありがとうございました。

なお、通常のビブリオバトルでは、それぞれの本の紹介の後、質疑応答の時間を取り、また、「一番読みたくなった本」という基準で参加者が投票を行って「チャンプ本」（最優秀賞）を決めますが、今回は省略して出場者全員に参加賞を贈ることにしました。

★出場者の感想を掲載します。

この度ビブリオバトルに参加してすごくいい体験だったと思いました。まずは人々の前で何かを発表する機会が少なく、少しの緊張はありましたが自分を鍛えるチャンスだったので楽しかったです。そしてみんなに自分が好きな本を紹介して、みんなが面白いと感じてもらうことだけでもやり甲斐があったと思います。（王）

今年のビブリオバトルは高専祭で行われたので、例年よりも多くの人に聞いてもらえてうれしかったです。今回、自分の趣味と絡めて楽しく紹介文を書くことができたし、より多くの人前で話す練習にもなったので良かったです。他に紹介されていた本も小説だけではなく、いろいろなジャンルがあって面白かったです。（三井）

1年生の時以来のビブリオバトル出場でした。ノリで決めたので本も一人だけ別ジャンルでした。高専祭での発表でかなり焦りましたが、ほちほち出来たんじゃないかなあとと思います。楽しく紹介できて良かったです。図書カードがもらえてうれしいです。（野田）

ビブリオバトルに出場するにあたって、僕は2回ビブリオバトルの経験があったので何とかなるだろう、と楽な気持ちで本番に臨みました。しかし、ロータリーのステージのような不特定多数の前で話したことはなかったので、本番はかなり緊張しました。でも、いざ話し出すと緊張は解け、逆に僕の心は興奮を抱き始めました。そしてそのまま最後まで話さきってしまった後、僕はとても満ち足りた気持ちでした。来年はもっと多くの人が参加して、たくさんの本に出会いたいです。（福住）

僕はビブリオバトルを今までたくさん経験してきたのですが、今回ほどのたくさんの方に聞いてもらったのは初めてだったのですごく緊張しました。ですが僕たちのビブリオバトルを見て、少しでも本に興味をもってもらえたらうれしいです。参加させていただきありがとうございました。とても楽しかったです!!（阿部）

過去に図書館でこじんまりとした中でのビブリオバトルは経験したことがありましたが、高専祭でのビブリオバトルはその時と比べて何倍も緊張しました。特に今回は、ロータリーの真

ビブリオバトル・読書感想文コンクール

ん中で発表という形で他の通行人の視線がもろに刺さり発表中とてつらかったです。発表中は全く台本など考えず、ぶっつけ本番で挑んだので時々詰まるところはありましたが、いい経験にはなったのかなと思いました。(松本)

僕は今回、初めてビブリオバトルというものに参加しました。他の学年の方で授業の中で行ったという方もいましたが、僕はそういったこともなかったのが非常に緊張していました。僕が今回、紹介したのは精霊の守り人という作品で

す。本当は闇の守り人というこのシリーズの2作目の作品であり、僕の愛読書を紹介したかったのですが、手元に今なかったためにシリーズ1作目であるこの作品にしました。本番では原稿を途中までしか作成していなかったため、半分アドリブになってしまい、かなり焦りました。しかし、好きな作品を語るということで心理的なハードルも低かったのか、個人的にはかなり上手くいったと思っています。今回の機会を通して自身としても少し成長できた気がしているので良かったです。(三宅)

全国高等学校ビブリオバトルの鳥取県大会が12月11日(日)に倉吉市で開催されましたが、今回は本校からの出場者はいませんでした。

「読書感想文コンクール」の入賞作品を紹介します

図書館では、本科1年生を対象に、国語科の協力を得て、今年度も「読書感想文コンクール」を開催しました。学生が自由に選んだ図書について、原稿用紙(400字詰)3枚以上5枚以内で感想文を書き、夏季休業後に提出してもらいました。

応募作品数は158あり、1次審査で、各クラスから3~5編を選定し、20作品が2次審査にノミネートされました。

2次審査では、その中から審査員が順位をつけ、下記のように入賞者を選びました。最優秀賞・優秀賞は、複数の審査員が高く評価した作品です(作品の後に選評も掲載しています)。

11月22~28日開催の図書館運営委員会で最終審査・決定し、12月6日に校長室で表彰式を行いました。



表彰式

最優秀賞			
クラス	名前	読んだ本	著者
1-2	北尾 夏帆	52 ヘルツのクジラたち	町田そのこ
優秀賞			
1-1	三島菜都子	両手にトカレフ	ブレイディみかこ
佳作			
1-1	井上 莉杏	カラフル	森絵都
1-1	古賀 華	星の王子さま	サン＝テグジュペリ
1-2	坂本 奈優	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	汐見夏衛
1-2	堀場 晶姫	名前探しの放課後	辻村深月
1-3	田村 綾梨	幕が上がる	平田オリザ
1-4	原 花楓	まだ見ぬ春も、君のとなりで笑っていたい	汐見夏衛
1-5	鶴亀琥太郎	52 ヘルツのクジラたち	町田そのこ

ブックハンティングによる購入図書のご案内

6月と7月にブックハンティングを行い、図書委員に実際に書店で選んでもらって購入した図書(下記の48冊)を配架しています。学生が作成した本の紹介ポップも添えてあります。(ブックハンティングの記事は、米子高専のホームページ「お知らせ」で既報です。)



書名	著者	書名	著者
心心(シンシン):東京の星、上海の月	石田衣良	百瀬、こっちを向いて。	中田永一
シンデレラ城の殺人	紺野天龍	野良犬の値段 上	百田尚樹
風を彩る怪物	逸木 裕	野良犬の値段 下	百田尚樹
マイクロスパイ・アンサンプル	伊坂幸太郎	天久鷹央(アメクタカオ)の推理カルテ	知念実希人
マスカレード・ゲーム	東野圭吾	水車館の殺人	綾辻行人
無敵のコミュ術	ひろゆき	平家物語:犬王の巻	古川日出男
妖しきご縁がありますように	山吹	ジャイロスコープ	伊坂幸太郎
14歳の世渡り術 ショートショートでひらめく文章教室	田丸雅智	君を愛したひとりの僕へ	乙野四方宇
未来の科学者たちへ	大隅良典、永田和宏	僕が愛したすべての君へ	乙野四方宇
20代を無難に生きるな	永松茂久	精神科医が教えるすりへらない心のつくり方	保坂 隆
同志少女よ、敵を撃て	逢坂冬馬	やりたいことが見つからない君へ	坪田信貴
論文の教室:レポートから卒論まで	戸田山和久	檸檬	梶井基次郎
もっと!京大変人講座	酒井敏ほか	虚構推理	城 平 京
パナの魅力を100文字で伝えてください:誰でも身につく36の伝わる法則	柿内尚文	本のエンドロール	安藤祐介
人は2000連休を与えられるとどうなるのか?	上田啓太	短編アンソロジー 学校の怪談	集英社文庫編集部

書名	著者	書名	著者
神薙虚無(カンナギウロム)最後の事件	紺野天龍	岩窟姫	近藤史恵
夜明けのすべて	瀬尾まいこ	食堂かたつむり	小川 糸
カケラ	湊かなえ	ミッキーマウスの憂鬱	松岡圭祐
爆弾	呉 勝浩	神モチベーション「やる気」しだいで人生は思い通り	星 渉
正欲	朝井リョウ	夏の体温	瀬尾まいこ
invert:城塚翡翠倒叙集	相沢沙呼	空想科学読本 1	柳田理科雄
余命一年と宣告された僕が、余命半年の君と出会った話	森田 碧	あのひとりがこの世のすべてだった頃	ナ・テジュ
残像に口紅を	筒井康隆	海をあげる	上間陽子
その可能性はすでに考えた	井上真偽	くるまの娘	宇佐見りん



ブックハンティングの様子(今井書店錦町店)



ISSN 1344 - 5634

米子高専図書館報
第116号

令和5(2023)年3月 発行
米子工業高等専門学校図書館

図書館のホームページをリニューアルします

図書館のホームページは、長らく図1のようなページ(現・トップページ)で公開・運用されてきましたが、この度リニューアルを図ることにしました。

あまり利用されなくなったコンテンツもあり、本校のホームページも新しいデザインにリニューアルされているので、そのスタイルにあわせ、コンテンツも更新します(図2)。



図1 現・図書館ホームページ(トップページ)



図2 新・図書館ホームページのイメージ

定期試験1週間前と定期試験中の土日祝開館の利用状況

今年度、図書館を土曜は原則休館にしました。昨年度までは授業期間中の土曜は開館(日曜・祝日は定期試験の時は開館)していましたが、利用状況やスタッフ不足などから、すべて休館にする方向で当初検討していました。

各部門の教員から意見を聞いたり、学生にアンケートを行ったりしたところ、定期試験に配慮してほしいという要望が複数あり、その1週間前と試験中の土曜および日曜・祝日は開館し勉学に資することとしました。そして、開館することを Teams で案内するなど周知にも努めました。

そのように変更して1年間、各休日開館日の利用者数をカウントし、利用者へのアンケートも実施して、様子を見ました。それらの結果を報告します。



図書館で勉強する学生(2月4日(土)の様子)

休日開館日の利用者数は、館内にいる人数として最も多かったのが11月23日(祝)14時30分の27人でした(図1)。最も少なかったときは3人(6月11日(土)14時30分、6月12日(日)12時30分)でした。

1月28日(土)・29日(日)は大雪のため休館しました。その2日間を除く15日間開館して、館内にいた最多人数の平均は18.7人でした。

図書をカウンターで借りた利用者は、最大で6人、最小で0人でした。

利用者にはスタッフがアンケート用紙を渡して、学年や通学生/寮生の別、利用目的などを記入してもらい、回収しました。

それによると、学年別では、1年生が46%で約半数を占めました。次いで4年生(22%)、3年生(21%)が多く、2年生(8%)、5年生(5%)は少なかったです(図2)。

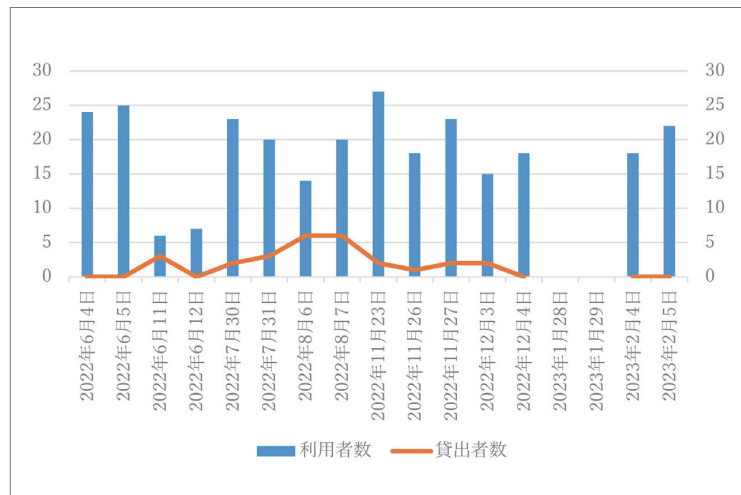


図1 休日開館日の利用者数と図書貸出利用者数(1月28日・29日は大雪で休館)
注：各日の10:30、12:30、14:30の時点で館内にいる利用者数を目視で数えた。そのうちで最も多かった人数をグラフ化したもの。

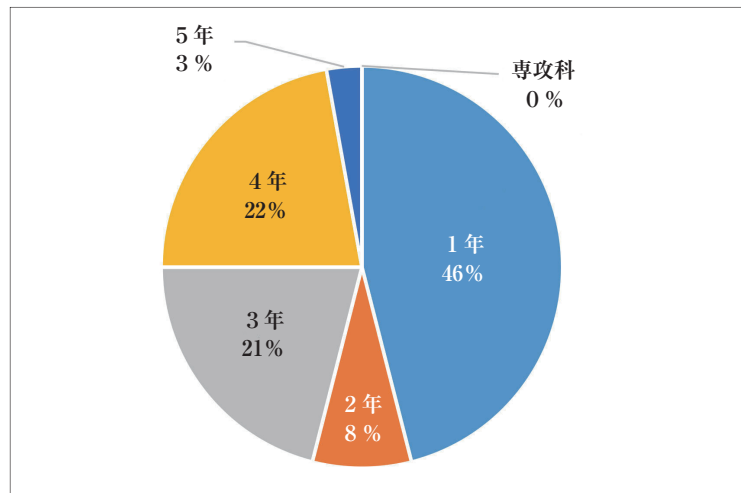


図2 休日開館日の利用者の学年別内訳
注：開館日ごとにアンケート用紙を配布・回収した(ただし、8月6日・7日、11月23日・26日・27日には実施なかった)。6月から2月までのアンケートの集計結果(延べ人数)を学年別の割合で示したのもの。

休日開館(定期試験時)の利用状況報告/写真同好会とのコラボレーション

通学生/寮生の別は、寮生が78%、通学生が22%で、寮生が大半ではありましたが、寮生ばかりというわけでもありませんでした(図3)。

利用目的(複数回答可)は、「定期試験のための勉強(自習)」が圧倒的に多く、それ以外での利用はほとんどありませんでした(図4)。

これらの数字をどのようにみるかはいろいろなとらえ方ができると思います。今年度1年間では結論が出せませんでした。

引き続き2023(令和5)年度も、今年度同様に休日開館しますので(ただし祝日は休館します)、ぜひ活用してください。

なお、上記の実態調査・アンケート調査のデータは図書館のホームページに掲載します。

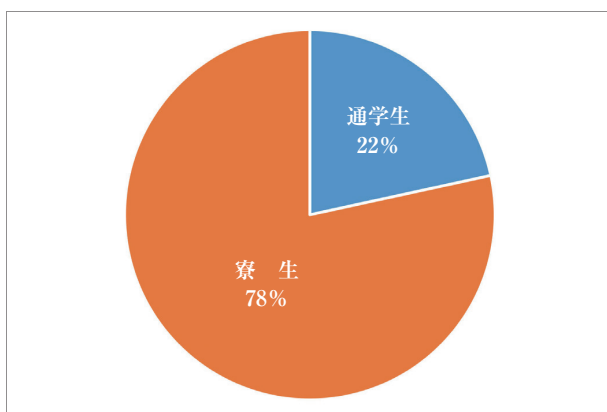


図3 休日開館日の利用者の通学生/寮生別内訳
注: 図2に同じ。6月から2月までのアンケートの集計結果(延べ人数)を割合で示したものの。

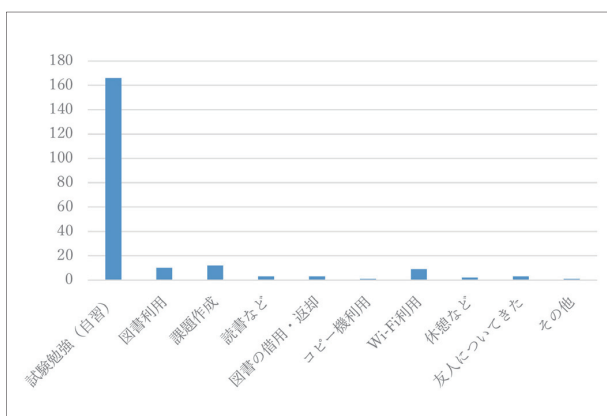


図4 休日開館日の利用者の利用目的(複数回答)
注: 図2に同じ。6月から2月までのアンケートの集計結果で延べ人数。

写真同好会とのコラボレーション

図書館には、昨年4月から、写真同好会の作品を展示しています。動物や花や風景などの写真を飾ってもらって、利用者を和ませたり、楽しませたり、館内の彩りやアクセントになっています。

7月と11月に写真の入れ替えもされました。その一部を紹介させていただきます。

(20ページに続く)



専攻科生の図書館スタッフに話を聞きました

今年度は4名の専攻科生に図書館の業務（アルバイト）に従事してもらいました。平日（授業期間）の17時から19時までと休日開館日の10時から15時まで、カウンターや館内で貸出・返却をはじめ利用者への対応や書架の整理などを4名がローテーションで担当しました。

そこで、1年間、図書館業務を行って初めての感想や気づき、提言などを、グループチャットで聞きました。

動機やきっかけ

図書館長・加藤博和（教養）：図書館のアルバイトをしようと思った動機やきっかけは？

S2・平野 聡（生産）：専攻科の授業*の中で図書館の現状分析と改善案について発表したことで、図書館の業務に興味を持ったためです。

*「人文社会特論」（担当：加藤ほか）で課題として出題

S1・山田優生（生産）：学校の敷地内に図書館があるので移動がなく便利だったことと、元々本が好きで図書館には通っていましたが本を借りる人は多くなかったのもっと借りる人が増えてほしいと思ったことがきっかけです。

S1・小島 翼（物質）：学校の敷地内にあり、実験や研究をしながらも勤務が可能だったことや、先輩も同じように図書館業務をしていたと聞いて興味を持ちました。

S1・衣笠廉人（物質）：普段から利用している場所なので信頼もあり、非常に通勤しやすい位置にあったので図書館での勤務を希望しました。また、実験等で時間が遅くなりがちだったため、17時からという時間設定に魅力を感じました。

業務の感想

加藤：図書館でアルバイトをしてみてもうでしたか？

小島：書架整理などの業務を通して今まで知らなかった面白そうな本を見つけることがよくあり、より読書に励むきっかけにもなりました。事務補佐員の福原さんや小田さんには1年を通して親切に様々なお世話をしていただき非常に感謝しています。

衣笠：書架整理を行う中で、自分の興味のなかった分野についても題名等から気になり、手に取る機会もあったため、知識の興味の幅が広がったように思います。一方で、勤務シフトが不定期だったため、他の予定との噛み合わせが悪く、交代等の都合がつかないときは苦労しました。

山田：いつも本に囲まれて業務ができて楽しかったです。福原さんや小田さんも親切にしてくださいまして感謝の気持ちです。大変お世話になりました。試験期間以外でも図書館を利用してくださいの方が増えるよう力になればと思います。

平野：17時以降は本を借りる人がほとんどいないんだなと思いました。

提案・提言

加藤：皆さんが感じているように、図書館の入館者数や貸出冊数が減少しています。図書館の利用を促したり、貸し出しが増えたりするような提案などは？

平野：17時以降も来館者は結構いたように感じたので、貸し出し手続きをもっと簡単にしたら貸出冊数が増えそうな気がします。

加藤：具体的には？

平野：スマホのカメラで本のバーコードを撮影して、それだけで貸し出し手続きが完了できたらよいのではないかと思います。

また、返却BOXを図書館前に設置したら、ついでに本を借りる人がいるのではないかと思います。（業務も少し楽になるので）

衣笠：図書館の本の検索方法が分かりにくいという相談を受けたことがありました。番号は出てくるものの探し方が分からなかったようなので、検索用PCの所に探し方マニュアルを作成すると良いと思いました。

加藤：「探し方マニュアル」には具体的にどのようなことが記載されているとよいでしょうか？

衣笠：OPACの使い方は分かるが、番号（数字）の読み方が分からないという方がおられました。OPACの数字の見方、それぞれの数字やアルファベットの意味が書いてあると良いと思います。

山田：今自分が借りている本の題名と冊数が確

専攻科生の図書館スタッフから/写真同好会とのコラボレーション

認できたら良いと思います。返却するときに返し忘れがあると新規貸出ができないので。

衣笠：自分の貸し出し状況が確認できないため、心当たりのない督促が来たといった相談もあったので、貸し出し状況を自分で確認する手段を確保してあげると良いと思います。

山田：リクエストも web 上や teams の forms などいつでもできるようになると利用者が増えると思います。

小島：私も、teams などのシステムを利用してネット上で本を探せたり、予約やリクエスト、貸し出し状況の確認ができると図書館の利用も増えると思います。

山田：専門書等が古すぎる（情報系の教材は1年や半年で変わってしまうので）のと、資格試験等（基本情報技術者試験、SPI 等）の参考書が更新されていないので、それらを借りる方は少ないと思います。

後輩へのメッセージ

加藤：先輩として、図書館活用法やメッセージなどがあれば。

山田：実験などで専門書をよく借りると思いますが、図書館の「リベラルアーツ」のコーナーにも面白い本がたくさんあるので読んでみると面白いと思います。後輩へのメッセージとしては、いろんなことに興味を持つきっかけになると思うので学生のうちに読書習慣をつけると良いと思います。

平野：自分の専攻分野とは全然違う分野の本が置かれているところを回ってみると、他分野に興味を持つきっかけになって良いのではないかなと思います。あまり本を借りていない人にも、読書のきっかけづくりとして、図書館でのアルバイトをおすすめしたいです。

加藤：今後の参考にしたいと思います。また、皆さんがこの経験を生かしてさらに活躍されることを期待します。ありがとうございました。

図書(専門書・参考書)の充実 ～後援会援助費の活用～

後援会から図書館に対して毎年度、支援を頂いています。今年度は、専門書・参考書の購入・整備に活用させていただきます。

学生(本科生)から、“専門書・参考書は古いものが多い(新しいものがほしい)”という意見・要望があります。では、どんな専門書・参考書がよいか？

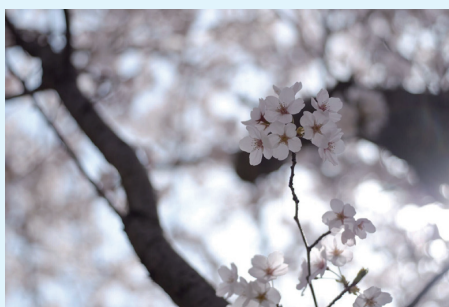
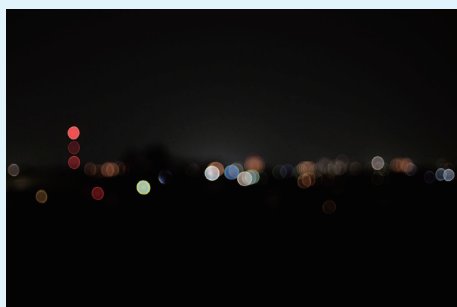
そこで、そうした図書館事情で苦勞してきた(?)専攻科生に、後輩のための、勉学に必要な、役立つ、参考になる図書をリストアップしてもらいました(約60冊)。

学生の皆さん、新年度にはそれらの図書が並んでいますので、ぜひ利用してください。

こんにちは、写真同好会です。2022年から図書館に同好会メンバーが撮影した写真を飾っています。写真は、L判やA4判に印刷したものを額縁に入れ、本棚の隙間や棚の上など図書館内のいろいろなところに

飾っています。

展示している写真をいくつか掲載しますので、館内でぜひ探してみてください。図書館の写真は時々入れ替えていますので、新しい写真がないか探してみてください！



図書館の利用状況をお知らせします

貸出冊数

2017(平成29)年度から昨年度・2021(令和3)年度までの学年別の貸出冊数を図に示しました。

この期間では、2018(平成30)年度が合計12,891冊借りられていて、最も多かったです。KOSEN4.0イニシアティブ事業で、図書館の図書利用を推進していました。2020(令和2)年からは新型コロナが流行し始め、登校できる日が少なくなった影響もあると思われます。2021(令和3)年度は、2018年度の半数にとどまっています。

ちなみに、貸出冊数の最も多かった学年・学科・クラスは表1のようになっています。

なお、今年度の数字は、2023年2月10日までのもので表2のようになっています。

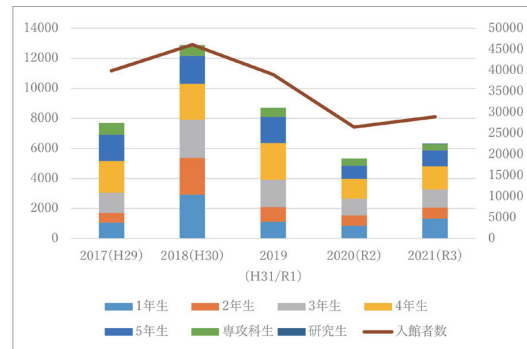


図 貸出冊数(学年別)と入館者数の推移
注: 専攻科生は1年生と2年生の合計値。研究生は2021年度のみ。

入館者数

図書館・閲覧室入口に設置してあるセンサーによって入館者数をカウントしています。同一人の出入りも延べでカウントされていますが、入館者数も示してみます。2018年度が46,122人で近年では最も多く、2020年度が26,519人で最も少なかったです。

表1 貸出冊数の最も多かった学年・学科・クラス

	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31/R1)	2020(R2)	2021(R3)
学 年	4年生	1年生	4年生	4年生	4年生
学 科	C	C	C	C	C
ク ラ ス	4C	3C	4C	3C	4C

表2 今年度の貸出冊数(2023年2月10日まででの集計)

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	研究生	専攻科生	合計
1,120	311	858	748	1,606	6	472	5,121

今年度、貸出回数が多かった図書を紹介しておきます(表3)。

表3 今年度よく借りられた図書(2023年2月10日まででの集計)

順位	貸出回数	タイトル	著者
1	26	TOEIC L&R test 出る単特急金のフレーズ	TEX 加藤
2	20	4 ; 公式 TOEIC listening & reading 問題集	Educational Testing Service
3	19	TOEIC L&R テスト文法問題でる 1000 問	TEX 加藤
4	17	TOEIC L&R test 出る単特急銀のフレーズ: 新形式対応	TEX 加藤
5	16	編入数学徹底研究: 大学編入試験対策: 類出問題と過去問題の演習	桜井基晴
5	16	詳解電気回路演習 上	大下真二郎
5	16	詳解電気回路演習 下	大下真二郎
8	15	3 ; 公式 TOEIC listening & reading 問題集	Educational Testing Service
9	14	編入数学過去問特訓: 大学編入試験対策: 入試問題による徹底演習	桜井基晴
9	14	大学編入のための数学問題集	碓氷久 [ほか]
9	14	オペアンプの基礎マスター	堀桂太郎
9	14	[1]; 1 駅 1 題新 TOEIC TEST 文法特急	花田徹也
9	14	1 ; 公式 TOEIC listening & reading 問題集	Educational Testing Service
14	12	有機化学: その基礎の理解	W.W. Linstromberg, H.E. Baumgarten 著; 野副重男訳
15	11	The wizard of Oz	L. Frank Baum ; retold by Rosemary Border
16	10	The tickets	Rob Waring and Maurice Jamall
16	10	推し、燃ゆ	宇佐見りん

Ⅱ

リベラルアーツ講演会

科学史の現代的意義とは何だろうか

愼蒼健（東京理科大学 教養教育研究院 教授）

@米子高専

2022年12月22日（木）

自己紹介

愼蒼健 SHIN Chang-Geon

【所属】東京理科大学 教養教育研究院 教授
／大学院理学研究科 科学教育専攻

【その他】国際日本文化研究センター客員研究員

【専攻】科学史・科学哲学



【専門】東アジア近代医学史





【最近の仕事】

- ・「医学論の日本主義的展開：戦時期日本の生理学、臨床医学、漢方医学」『現代思想』2021年7月号。
- ・「東洋医学の展開」「朝鮮の科学：南北分断国家の科学史的前提」（『科学史事典』丸善出版、2021年5月）。
- ・「731部隊とその戦後」（『よくわかる現代科学史・STS』ミネルヴァ書房、2022年2月）。など

朝鮮總督府醫院第十五年報

東京理科大学とは

東京理科大学  **東京理科大学について①（本学の理念等）**  Tokyo University of Science

<p>1881年に「東京物理学講習所」として創立され、2021年に創立140年を迎えた</p> <p>真に実力を身に付けた学生のみを卒業させる創立以来伝統の「実力主義」</p>	<p>大学の創立</p>  <p>建学の精神</p>  <p>教育方針</p>  <p>教育研究理念</p> 	<p>「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」</p> <p>自然・人間・社会とこれらの調和的発展のための科学と技術の創造</p>
---	---	---

神楽坂 東京都
野田 千葉県
葛飾 東京都
長万部 北海道

理学部第一部
理学部第二部
経営学部

理工学部
薬学部

工学部
先進工学部

7 学部
32 学科

教養教育研究院

キャンパス



学部・学科



学生数



研究機関



大学院



<2022学部>早稲田38,658 慶應28,641
上智12,080 明治31,515 東工大4,803
鳥取大5,120 東大13,924 東北大10,629
2022年度 女子学生4,708

19,113

学部15,840 (女子学生4,056)

21 研究部門 1 研究拠点

3 研究センター 1 共創プロジェクト

火災安全科学研究拠点
火災科学研究所
スペースシステム創造研究センター
ウォーターフロンティア研究センター

7 研究科

30 専攻

4年間一貫 (6年間一貫) 教養教育へ改革

- ✓ 専門教育の基礎・準備、最初の2年間の「教養」という考え方から脱却
- ✓ 従来は形式的に「1~4年生ALL履修OK」科目が多く、高学年でも教養科目は履修可能であったが、実態は1~2年生が中心
- ✓ 1年から4年生まで教養科目を「自由に」(偏らないで)履修する <仕掛け>を作る。特に3年生以上の学生に必ず教養科目を学んでもらいたい。偏らない自由を行使させるために「不自由」を設定する
- ✓ 脱「単線的な高度化カリキュラム」

2022年度~「TUSくさび形教養教育カリキュラム」の導入 (全学部学科対象)

再編等により一部学部学科は2023年度以降から

- 学生が自らの専門教育と専門的営みを相対化しながら、知性や感情、理解と共感を核とした人格を形成し、市民として協働的諸活動に携わる資質の向上、生涯にわたる学習態度につながる興味関心の芽を育むためのシステム

TUSくさび形教養教育カリキュラムの柱

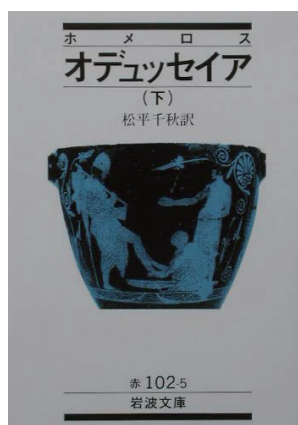
- ① 卒業所要単位数の下限の設定
⇒ 教養科目(必修英語含む)の卒業所要単位数を全学共通で30単位以上とする
- ② 3年生以上で4単位修得
⇒ 教養科目について、3年生以上で4単位を修得することを必須とする
- ③ 初習語(第二外国語)の選択必修化の推奨
⇒ 各学科に対して初習語の選択必修化を推奨
2022年度からは32学科中15学科において初習語2単位の選択必修化を実現

Question

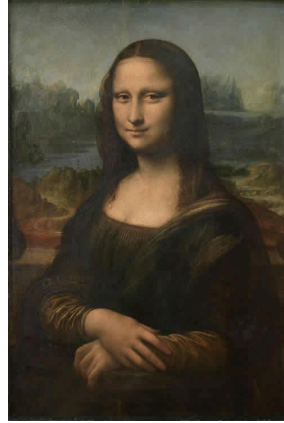
科学史？

現代的意義？

文学史



美術史



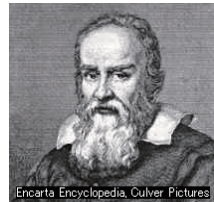
科学史

古代・中世科学

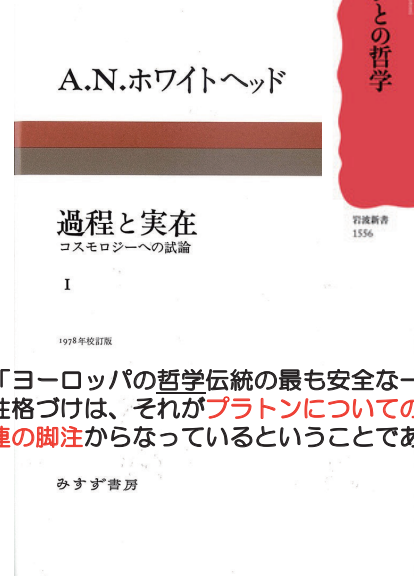
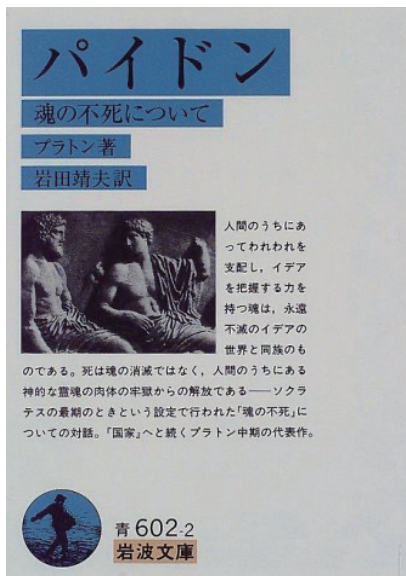


トーマス・クーン 『科学革命の構造』 1962

近代科学の創始者



手がかりとしての哲学史



「ヨーロッパの哲学伝統の最も安全な一般的性格づけは、それが**プラトン**についての**一連の脚注**からなっているということである」

仮説

私たちにとって、古代・中世の人々とは、

間違った考え、遅れた考え、
非合理的な考えの人々ではなく、

対話相手ではないのか。

トーマス・クーン『科学革命の構造』1962

事例検討

天文学の歴史から

「天動説から地動説へ」？



『アテネの学堂』は何を語っているのか

☑何が描かれているのか

ギリシア哲学の碩学たち

☑どこに描かれたのか

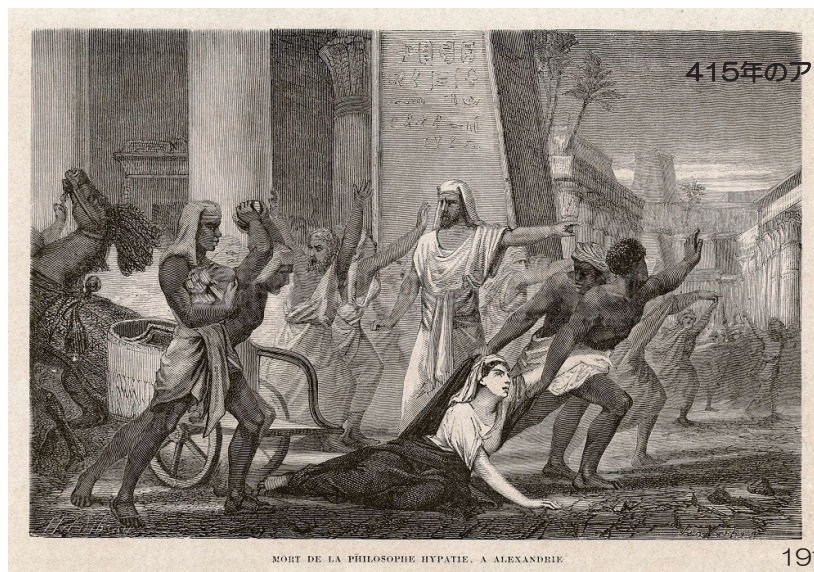
バチカン

→キリスト教とギリシア哲学（異教徒）の接合

☑いつ描かれたのか

1509-1510

1 キリスト教とギリシア哲学の関係は？



415年のアレクサンドリア

19世紀作成のイラスト

①ギリシア哲学の追放



✔415 ヒュパテイア殺害される

✔431 エフェソス公会議にて
ネストリウス派が異端と宣告

→ネストリウス派はギリシア哲学書を抱えてアラビア半島へ「亡命」

脱線しながら考える：科学と女性

- ✔「科学史に女性が登場しないのはなぜか」という問いへの応答。
- ✔「実は古代に女性の自然哲学者がいた」という歴史的事実の意味。
他にも、「修道院医学時代（大学医学以前）には女医が存在していたが、12世紀の大学医学部誕生以降になると女医がいなくなるという歴史」。
- ✔社会は進歩している（女性差別社会から男女平等社会へ）という単線的歴史観では排除されてしまう事実を私たちの歴史観に組み入れること。一方、昔は比較的平等だったと主張する危険性にも注意。複雑さをそのまま理解する。

②ヨーロッパ中世前期（5世紀-11世紀）に天動説の書物はなかった



「アル-マジスティ」の中の「うしかい座」

- プトレマイオス『アルマゲスト』
（ギリシャ語）／2世紀
（現存しない）

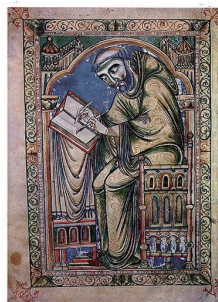
→『アル-マジスティ』（偉大な書）（アラビア語）に翻訳／9世紀

→中世ヨーロッパで、ラテン語に翻訳／12世紀

③12世紀ルネサンス：ギリシアの復興

十二世紀ルネサンス

C・H・ハスキンス
別宮貞徳・朝倉文市訳

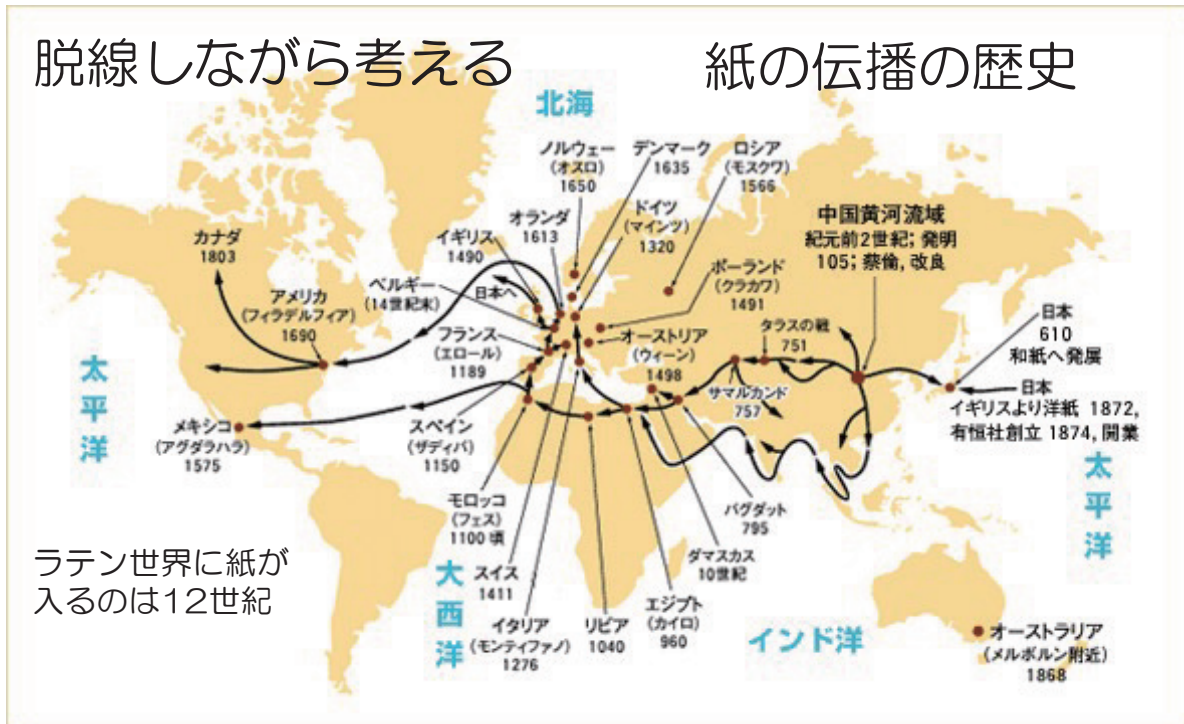


みすず書房

- ☑「12世紀は他に例を見ないほど創造的な、造形的な時代」（歴史家ホイジンガ）
- ☑アラビア世界との接触から、ギリシア・アラビア科学のテキストが流入→大翻訳運動へ
- ☑民族移動の終結、教会と国家の分離、農業革命による生産物増加、商人階層の活動と都市の勃興、大学の成立

脱線しながら考える

紙の伝播の歴史



④スコラ哲学：ギリシアとキリスト教の「結婚」



- キリスト教の啓示の超自然的内容を、自然的人間理性、とりわけアリストテレスの哲学を援用して理解しようとした哲学的・神学的運動。

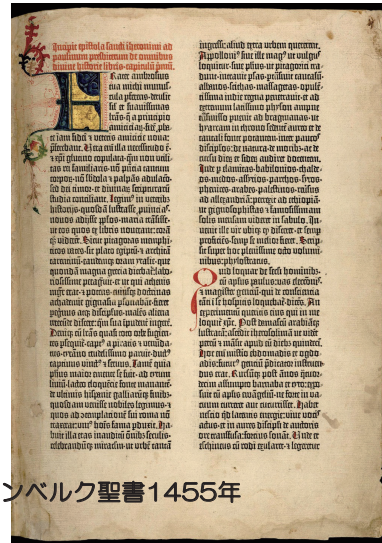
ピエール・アベラール
1079-1142

スコラ哲学の大成者：トマス・アキナス
Thomas Aquinas
1225-1274

2 ギリシア・アラビア哲学の普及

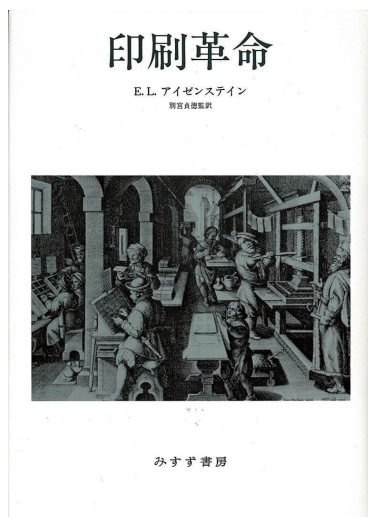


印刷所1568年



グーテンベルク聖書1455年

① 15世紀 印刷革命（グーテンベルク革命）



- ✓ヨハネス・グーテンベルク
1398-1468
- ✓印刷工房から生まれる書物の誕生→アラビア経由のギリシア哲学、アラビア哲学が大量生産
→コペルニクス、ガリレイの知的環境を形成

②1543年の同時出版



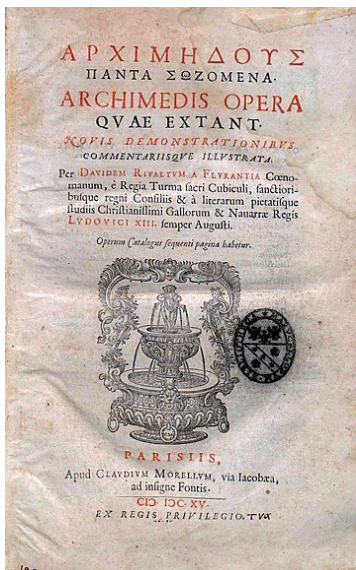
NICOLAI COPERNICI TORINENSIS
DE REVOLUTIONIBVS ORBI-
um coelestium, Libri vi.

Habes in hoc opere iam recens nato, & ædito, studiole lector, Motus stellarum, tam fixarum, quam erraticarum, cum ex ueteribus, tum etiam ex recentibus obseruationibus restitutos: & nouis insuper ac admirabilibus hypothefibus ornatos. Habes etiam Tabulas expeditissimas, ex quibus eodem ad quoduis tempus quam facillime calculare poteris. Igitur eme, lege, fructe.

Ἐπιπέδου ἑξ ἑξ ἑξ.

Norimbergæ apud Ioh. Petreium,
Anno M. D. XLIII.

③ アルキメデス（紀元前287-212）の復活



1615年

- ☑ 9世紀にアラビア語
 - 12世紀にラテン語
 - 1544年にヨハン・ヘルヴァーゲンが、ギリシア語とラテン語で「最初の校訂版 (Editio Princeps)」発刊
- ☑ **アルキメデス本の出版が近代科学誕生に大きな影響**を与える
 - ガリレイの「師匠」

④サモスのアリストアルコスという男の存在 (アルキメデスによれば)

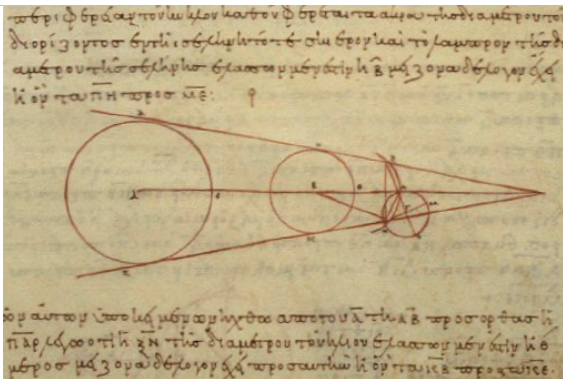
- ゲロン王陛下は、『宇宙』という語は多くの天文学者によって、地球の中心をその中心とし、太陽の中心と地球の中心を結ぶ直線をその半径とする球に対して付けられた名称であることをご存知でしょう。この説明は、陛下が天文学者たちからお聞きになったのと同様、一般によく知られております。しかしアリストアルコスはある本の中で、いくつかの仮定から導かれる帰結として、宇宙は先ほど述べました「宇宙」よりも何倍も大きいとの仮説を提唱しております。彼の仮説によれば、恒星と太陽は不動で、地球は太陽の周囲のある円周上を回転し、太陽はその軌道の中ほどに位置します。恒星天球の中心は太陽とほぼ同じ位置にあり、その大きさは非常に大きく、地球が回転するという円の大きさと恒星までの距離の比は、恒星天球の中心までの距離と天球表面までの距離の比に等しくなると言います。

⑤アリストアルコス（紀元前3世紀） の著作について



Mathematicae collectiones, 1660

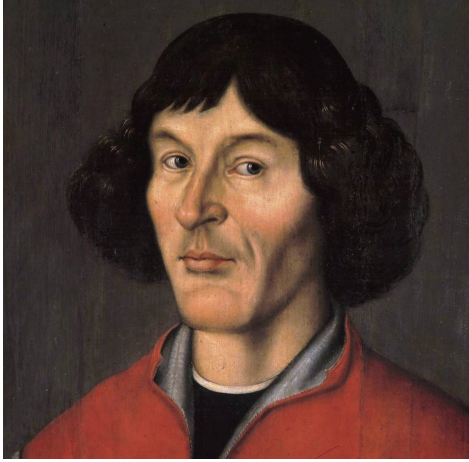
- ✓ アルキメデスの著作にて紹介
- ✓ 他に、アレキサンドリアの数学者パップス（4世紀前半に活躍）の論文集「小天文学」に収録されている。
- ✓ 10世紀にアラビア語訳
→ 15世紀にラテン語訳



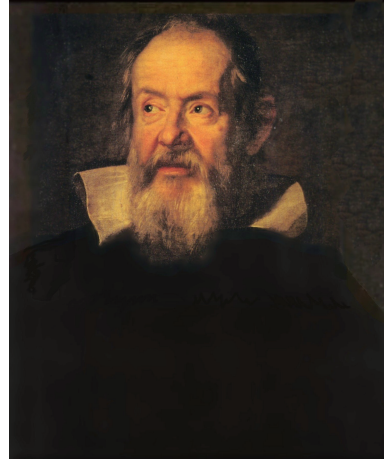
アリストアルコスの『太陽と月の距離と大きさについて』の写本（10世紀頃）

⑥ガリレイのコペルニクス批判

コペルニクスは太陽中心説の発明者ではなく、「埋もれていた仮説を復活させて確認した人」



コペルニクス1473-1543



ガリレイ1564-1642

天文学史の整理

- ✔古くから地動説は存在した。サモスのアリストタルコス。
- ✔だが、ヒュパティアの殺害以後、ギリシア・ローマの地動説は表舞台から消える。
- ✔中世前期（5世紀-11世紀）の修道院にはギリシアの本がほとんどない。
- ✔天動説のプトレマイオスは、アラビア世界にて保存・研究され、12世紀ルネサンスを通じて、ヨーロッパに普及していく。
- ✔コペルニクスの時代には印刷革命期、アルキメデスなどによって、サモスのアリストタルコスは紹介されていた。ガリレイは知っていた。
- ✔（補足）15世紀-16世紀はキリスト教への「懐疑の時代」（ポプキン）と言われる。



天文学史は何を語るのか

- ✔天文学史は単線的な「天動説から地動説へ」という流れではない。
- ✔紀元前3世紀あたりから天動説と地動説は併存状態に入るが、ヨーロッパでは5世紀以降、地動説は表舞台から消える。
- ✔一方、ギリシア語原典の天動説テキストも、修道院にはなかった。とすると、中世前期の天動説とはどうなっていたのか。
- ✔ヨーロッパ天文学の「コペルニクスの転回」は、アラビアを経由した12世紀ルネサンスの産物。つまり、西欧近代科学と呼ばれているもののルーツにはアラビア・イスラム科学の遺産が含まれる。
- ✔科学の歴史には、技術の歴史が不可分。天文学の歴史は、紙技術の受容と印刷革命が大きく影響している。また、12世紀ルネサンスまで含めると、より広い社会の歴史が関与していることもわかる。つまり、科学の歴史を真に理解しようとする、科学の内在的発展史には限界があることを認識しなければならない。

最後に：科学史に現代的意義があるとすれば

- ✔歴史学的学問に共通する現代的意義は省略。
- ✔常識的科学史は他の歴史学と比べ、最も強く進歩史観に支配されている。たとえば、「天動説から地動説へ」。新しい科学史は、この見方に疑問を投げかけ、科学外の要因も考慮した、より複雑な総合的歴史観を提示する。
- ✔科学・技術に一定の自律性があるとしても、やはり科学史は科学「外」の要因も重視した歴史研究を行い、成果をあげてきた。したがって、歴史だけでなく、科学・技術の未来もまた「外」の要因が大きな影響を与えると考える。科学技術社会の未来も専門家でない人々の力で可変的だということ。

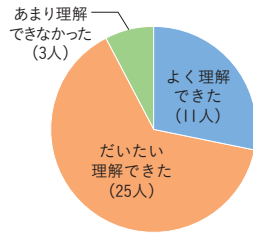
学生のアンケート結果と感想

聴講した学生 39 名に、授業終了時に Forms でアンケートを行い、感想を収集した。

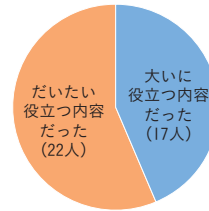
*

〈アンケート〉講演内容が「よく理解できた」(11人)・「だいたい理解できた」(25人)と回答した学生が合わせて 92.3%であった。

また、「大いに役立つ内容だった」(17人)・「だいたい役立つ内容だった」(22人)と回答した学生が合わせて 100%であった。



「内容は理解できたか？」



「内容は役に立ちそうか？」

〈学生の感想〉(抜粋)

- ・天動説から地動説へ変わる話で、教科書で習った時代よりも前から地動説はあったということを知らなかったの、印象に残っている。
- ・地動説を提唱したのはコペルニクスだと思っていたが、最初に提唱したのは他の人ということが分かった。
- ・天動説と地動説が並行して考えられていたことは初めて知った。私たちは表面上しか見えていなかったのだなと思った。
- ・歴史を見る時、前から後で結果しか見ていなかったけれど、前から後になるまでに結果は行ったり来たりしているということに気づかされた。歴史は実際に起こったことであるので、もっとストーリーに興味を持って学んでいきたいと思った。
- ・自分たちが中学・高校で学んでいることは一方面から見た単発の出来事であるが、今回の話では多方面に物事をつなげて見ることで理解しやすかったし面白かった。
- ・予想外の視点から見ると納得できることがたくさんあり、視点を変えて見ることの重要性を学べたととても有意義な時間だと感じた。
- ・科学者や文学者は自分と比べていろんな意味でかけ離れている方々と思っていたが、講演のスライドに「対話相手」と書かれていて、深いなあー、そういう考え方もあると思い、感心した。
- ・女性差別があった時代にも女性の哲学者や医師がいたというのは驚いた。時代の流れは教科書に書かれているような単純なものではないと気づかされた。
- ・“女性の科学者”を問われた時、あまり思いつかなかったが、私が思っていた以上にたくさんいるということに驚いた。ヒュパティアについてももう少し自分で調べてみようと思う。
- ・科学と哲学はあまり関係なさそうという勝手な印象があったが、むしろ密接くらいな感じだったのが意外だった。
- ・高専で学んでいるとどうしても専門のことに重きを置いてしまうが、専門の外についても学ぶことは重要だと聞き、他の勉学も大切に学びたいと思った。

Ⅲ

『リベラルアーツセンターだより』

バックナンバーは当センター・ホームページに掲載していますのでご覧ください。

新着情報	<h2>センターだより</h2> <p>『リベラルアーツセンターだより』を発行しました。</p> <p>第6号（2022年3月）</p> <hr/> <p>第5号（2021年3月）</p> <hr/> <p>第4号（2020年3月）</p> <hr/> <p>第3号（2019年3月）</p> <hr/> <p>第2号（2018年3月）</p> <hr/> <p>第1号（2017年3月）</p> <hr/>
センター概要	
センターだより	
講演会	
談話会	
研究会	
研究交流会	
米子高専数学・科学振興会	
論文・新聞記事等	
開催行事報告	
読書会	
図書紹介	
取り組み	
KOSEN（高専）4.0	
共催事業	
報告書・資料集	
リンク	

米子高専 リベラルアーツセンター

〒683-8502
鳥取県米子市彦名町4448
TEL 0859-24-5028
E-mail gakujo@yonagok.ac.jp

リベラルアーツ講演会を開催

米子高専での学びに、幅広い視野や自由な発想を加え、学生たちがより伸長できるように、外部講師を招へいして講演会を開催しています。

今年度は、科学史・科学哲学を専門にされている東京理科大学の榎 蒼健教授(教養教育研究院・院長)に「科学史の現代的意義とは何だろうか」と題して講演していただきました。

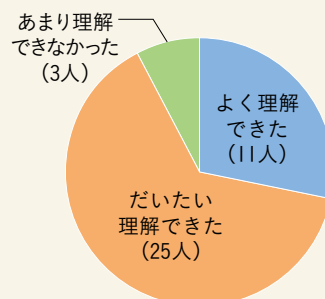
12月22日(木)に3年物質工学科の学生がオンラインで聴講しました。その感想から、学生たちは既知の常識を大いに揺さぶられたようです。

学生の感想(抜粋)

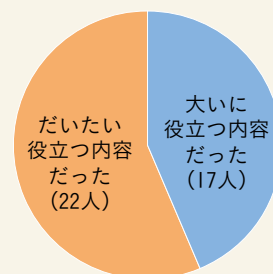
- ・天動説から地動説へ変わる話で、教科書で習った時代よりも前から地動説があったということを知らなかったのが、印象に残っている。
- ・地動説を提唱したのはコペルニクスだと思っていたが、最初に提唱したのは他の人ということが分かった。
- ・天動説と地動説が並行して考えられていたことは初めて知った。私たちは表面上しか見えていなかったのだなと思った。
- ・歴史を見る時、前から後で結果しか見ていなかったけれど、前から後になるまでに結果は行ったり来たりしているということに気づかされた。歴史は実際に起こったことであるので、もっとストーリーに興味を持って学んでいきたいと思った。
- ・自分たちが中学・高校で学んでいることは一方面から見た単発の出来事であるが、今回の話では多方面に物事をつなげて見ることで理解しやすかったし面白かった。
- ・予想外の視点から見ると納得できることがたくさんあり、視点を変えて見ることの重要性を学べたとても有意義な時間だと感じた。
- ・科学者や文学者は自分と比べていろんな意味でかけ離れている方々と思っていたが、講演のスライドに「対話相手」と書かれていて、深いなあー、そういう考え方もあると思い、感心した。
- ・女性差別があった時代にも女性の哲学者や医師がいたというのは驚いた。時代の流れは教科書に書かれているような単純なものではないと気づかされた。
- ・“女性の科学者”を問われた時にあまり思いつかなかったが、私が思っていた以上にたくさんいるということに驚いた。ヒュパティアについてももう少し自分で調べてみようと思う。
- ・科学と哲学はあまり関係なさそうという勝手な印象があったが、むしろ密接くらいな感じだったのが意外だった。
- ・高専で学んでいるとどうしても専門のことに重きを置いてしまうが、専門の外についても学ぶことは重要だと聞き、他の勉学も大切に学びたいと思った。



アンケートでは、講演内容が「理解できた」と回答した学生が92.3%、「役立つ内容だった」と回答した学生が100%でした。



内容は理解できたか?



内容は役に立ちそうか?

また、〈リベラルアーツ特別講演〉として、地球環境やエネルギーについて問題意識を高め、自ら考えてもらうため、外部講師による授業を下記のように3年の4クラスで行いました。

①12月9日（金）3年電子制御工学科	(株)ユニバーサルエネルギー研究所 金田 武司氏
②12月14日（水）3年電気情報工学科	チームEEE（エネルギー環境教育実践チーム） 幸 浩子氏
③12月14日（水）3年建築学科	
④12月16日（金）3年機械工学科	原子力発電環境整備機構 富森 卓氏・真壁 佳代氏



「対話型鑑賞」を実施（「コレクション宅配便」事業）

鳥取県立博物館が所蔵している美術品を県内の学校に持ってきていただき、それら本物の作品を、みんながそれぞれ感じたままを声に出してじっくり鑑賞する（「対話型鑑賞」と呼ばれています）「コレクション宅配便」という事業を本校も利用しました。

今年度は2回実施しました（昨年度は1回）。1回目は、10月14日（金）に3年電子制御工学科の学生を対象に、2回目は、12月8日（木）に4年生の選択科目（社会科学Ⅲ）の中で行いました。両日とも、授業終了後も展示して他の学生・教職員にも自由に鑑賞してもらいました。

図書館の1階と2階に、1回目は7点、2回目は4点の版画作品・彫刻・工芸作品が並べられ、数人ずつのグループに分かれてローテーションで鑑賞しました。県立博物館美術振興課のスタッフの方たちがファシリテータを務め、学生たちは思い思いに感じたことや考えたことを言い合いました。

10月14日の様子



12月8日の様子



図書館には、米子市出身の田村憲二氏の絵画が多数展示してあります。そのうち、「大山(春)」(1階ロビー)、「大山(秋)」(2階ロビー)などもあわせて鑑賞しました。閲覧室にある高価な椅子にも座ってみました。

学生の感想 (抜粋)

- ・ 普段、美術作品に触れる機会がないので新鮮だった。
- ・ 友達といろいろ見て回れて楽しかった。ちょっと美術館に行きたくなった。
- ・ 美術は考え方に正解がないので、想像力が豊かになる良い経験だった。
- ・ 絵を見て初めて楽しいという感覚になった。
- ・ 自分の中でお気に入りの作品を見つけることができて楽しかった。
- ・ 美術作品を見ることは楽しかったし、大人数で感想や意見を出し合いながら作品を考察することができて良かった。
- ・ タイトルを知らない状態で見ると、いろいろなものが出てきて面白かった。
- ・ 図書館に飾ってあるものもじっくり見ることができて良かった。
- ・ 様々な意見を聞くことができて楽しかった。自分の意見を人に伝える能力をもっと身につけたいと思った。

皆さんもどうぞ図書館や校内に飾られている絵画や美術工芸品に触れ、感性を磨いてみてください。

「KOSENフォーラム」 オーガナイズドセッションを開催

国立高専機構による令和4年度のKOSENフォーラム（KOSENフォーラム2022：9月5日・6日）において、本校はオーガナイズドセッションで「高専図書館のあり方を考えるーリベラルアーツの視点から」を企画し、オンライン（Microsoft Teams）で9月5日（月）に開催しました。

図書館長・リベラルアーツセンター長（加藤）の趣旨説明の後、基調講演を筑波大学図書館情報メディア系講師の大庭一郎先生にいただきました。演題は、「高等専門学校図書館の基本機能：学生の研究力を支えるリベラルアーツの育成」で、トピックスとして、高専図書館の研究、特徴、歴史、論点、サービス（悉皆調査の結果）、高専図書館を支える組織、学生の研究力を支えるリベラルアーツの育成、高専図書館のサービスの構成要素、課題について取り上げられました。

それを受けた質疑・意見交換では、松江や茨城などの高専から発言がありました。高専図書館とリベラルアーツなどについて考える良い機会とすることができました。

【趣 旨】

高専は、教育研究上必要な資料を、図書館を中心に系統的に備え、専任の職員や設備を備えるものと設置基準に規定されている。インターネットが普及し、デジタル化が進む中で、図書館の位置づけ・役割や機能も見直しが求められているのではないかと、学生の図書館離れは進んでいないだろうか。

本校ではリベラルアーツ教育を推進しているが、図書館を活用して学生たちが読書などを通じて、世界観や倫理観を獲得し、価値観を創造し、自ら学ぶ態度を養ってくれるようにするにはどうしたらよいか。

高専図書館とリベラルアーツなどについて考えていきたい。

【これまでの本校のオーガナイズドセッションのテーマ】

2020年度：「高専リベラルアーツ教育の方向性を探る」

2021年度：「高専教育におけるリベラルアーツの具体化の方途ー理念・カリキュラム・組織」

◎図書館に、「リベラルアーツ」コーナーを設け、リベラルアーツに関連する図書も購入していますので、ご利用ください。

共催イベント

「ビブリオバトル2022」（図書館）

今年度は、「高専祭」の中のイベントとして11月3日（木・祝）にロータリーステージで開催しました。出場者（バトルー）は7名（3年生・5名、1年生・2名）でした。

出場した学生の感想を紹介します。「今年のビブリオバトルは高専祭で行われたので、例年よりも多くの人に聞いてもらえてうれしかったです。今回、自分の趣味と絡めて楽しく紹介文を書くことができたし、より多くの人の前で話す練習にもなったので良かったです。他に紹介されていた本も小説だけではなく、いろいろなジャンルがあって面白かったです。」

他の学生の感想も含めて詳細は、『としょぶらり』115号（2022年12月発行）をご覧ください。



「とっとりサイエンスワールド2022」 （米子高専数学・科学振興会）

小・中学生を対象に、算数・数学パズルや科学実験などを通じて算数・数学・科学の面白さを体感してもらおうと、西部地区（米子市児童文化センター）で8月20日（土）に、東部地区（とりぎん文化会館）で8月28日（日）にそれぞれ開催し、参加者は78名と69名で好評でした。



編集後記

今年度実施したりベラルアーツセンターの事業をまとめました。昨年度から延期していたリベラルアーツ講演会を開催したり、特別講演を対面で行ったりできました。とっとりサイエンスワールドも今年度は開催されました。対話型鑑賞は昨年度に続いて今年度も県立博物館のご協力で実施することができました。KOSENフォーラム・オーガナイズドセッションは図書館と絡めたテーマ・内容で企画してみました。本校図書館報『としょぶらり』も併せて読んでいただくと幸いです。

昨年度の編集後記を見ると、「新型コロナの「第6波」の只中にあり」と書いておりました。現在は、「第8波」のピークが過ぎたとみられ、政府は今月13日より、コロナ感染対策におけるマスク着用は個人の判断に委ねるとしています。コロナで変容した社会をどのようにとらえ、新たな価値を見出し再構築していくかーリベラルアーツの力も問われているように思います。

私は、リベラルアーツセンター設立時より副センター長、そして昨年度からはセンター長として関わらせていただきましたが、今年度でその任を終えることとなりました。お世話になりました。多くの方々のご協力を得て、センターの運営に携わることができましたこと、この場をお借りして感謝申し上げます。
(リベラルアーツセンター長 加藤 博和)

リベラルアーツセンター報告書 2022

2023（令和5）年3月31日発行

米子工業高等専門学校リベラルアーツセンター

〒683-8502 鳥取県米子市彦名町 4448

TEL : 0859-24-5028（学生課学術情報係）

E-mail : gakujo@yonago-k.ac.jp

URL : https://www.yonago-k.ac.jp/tosho/liberal_arts.html
